

○本校の状況

- 特に数学A(主として知識)が全国平均を下回っている。
- 数学B(主として活用)は全国平均よりは低いものの、数学Aよりも高い。
- 国語A(主として知識)、B(主として活用)は全国平均に近い。
- 言語活動や読解力が全国平均よりも高い。
言語活動：総括して「自分の考えや意見を話し合う活動が授業で設けられており、自分の考えや意見を発表するのが得意と答えている生徒が多い」ことから読み取れる。
- 自尊感情：湖北中の生徒は「自分にはよいところがありますか?」「将来の夢や目標を持っていますか?」の項目について高い。
- 規範意識：「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか?」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか?」の設問に「そう思う」と答えた生徒が多い。

○経年との比較

昨年度のデータとの比較すると

- 国語、数学とも、昨年度より向上している。特に国語A(主として知識)が大幅に向上している。国語・数学への関心も、全国平均近くまで向上している。
- 規範意識が大幅に向上、全国平均を上回った。
- 自尊感情は、昨年度も高かったが、今年はさらに高くなっている。
- 言語活動は、昨年度と同程度だが、依然として高い値を示している。
- 生活習慣(朝食をとるなど、規則正しい生活をする)は昨年よりやや低下した。
- 家庭学習の習慣は昨年度より向上し、全国平均を上回った。

○今後の取り組み

- 生徒の自治活動の充実が規範意識の向上。自尊感情の向上につながったと考えられる。授業規律の定着が学力向上の一助になったと考えられる。生徒の自治活動の充実を今後も図りたい。
- 言語活動・読解力が全国平均よりも良い状況が続いている。生徒主導の行事運営や「ケアのある学び」、写本、読書などの取り組みの成果であると考えられる。
- 昨年よりは向上したものの、数学A(主として知識)の落ち込みが目立つ。K1を活用して、テスト結果をもとに再テストを実施し、補習を行う取り組みをしているが、それを充実させたい。また、教科指導においても、基礎基本の定着に主眼をおいて指導していきたい。
- 家庭学習の習慣化はできつつある。ワンディワンページの指導を継続して行っていきたい。
- 言語活動・読解力の高い状況は今後も保っていきたい。読書活動および写本は継続して行いたい。